

白河民商
 発行所
 白河市天神町28
 白河民商工会
 TEL(27)3161

無料法律相談

7月 13日(木) 午後4時〜

相談のある方は事務所まで連絡をお願いします



**東支部で
合同班会開く**



24日(土)に東支部合同班会が田崎自工事務所で開催されました。12人が出席した今回は、埼玉県連の木村哲也副会長を講師にお招きし、インボイス学習会と題して講演をしていただきました。「消費税とはどんな税制なのか」を丁寧に説明し、価格と益税・「預かり金」理論、適格請求書の存在が事務作業の煩雑さを招いていること、登録有無によって取引停止を示唆されている状況など様々な問題点を話してくれました。

経営交流会(料飲業)
 21日(水)全商連主催の経営交流会(料飲業)を白河民商もZOOMで参加しました。
統一行動で料飲業者訪問
 20日(火)19時から経営交流会のお誘いを兼ねて、二宮会長、山澤副会長、事務局が料飲業の会員を4軒訪問しました。コロナ禍が一段落しているようで、どの店も大忙しで、交流会の参加は「仕込み作業で難しい」と返事がありました。



インボイスどうする？

**商工新聞の魅力とは…
そして班・支部建設を！**

商工新聞中心の活動と
 班・支部 建設「全国交流会



25日(日)に行なわれた全商連主催の全国交流会に白河民商もZOOMで参加しました。
 (於) ひじりん館 (大信)

会員からは、免税業者は今まで通り仕事が続けられるのか、一般課税・簡易課税で経費や費用を支払う場合にどんな点に注意するべきかなどさまざまな質問をしていました。

6月25日(日)9時30分〜15時10分まで、全商連主催でZOOMによる全国交流会が開催されました。商工新聞前面の拡大を中心に会勢の発展に挑戦していますが、商工新聞の魅力はどこにあるのかを「全国商工新聞」編集長の原さんが訴えました。

商工新聞は基本的に全国の民商からの通信を中心に作られていると、通信の大切さを訴えていました。そして助けあい運動を知らせ、全業者を励ましています。

パネルディスカッションと代表発言は身近な問題でした。

**支部での全会員訪問で
顔がわかる**

発言の中では、支部での全会員訪問や支部独自の拡大行動などの発言がありました。

白河民商からは15人が参加

【参加者の感想】
 「班会をきちんと開くには役員による時間をかけた納得いくまで討議を定期的に」「会員訪問の大事さ」「班・支部組織の大事さ」がよく理解できた、と感想が出されました。

また「頼み事だけ利用し、役員を引き受けず、支えないこんなだらしのない組織はどこにもない」との発言をきっかけにまじめに参加する人が増えた。と代表者発言に対する感想も寄せられました。